

中小企業成長支援ファンド（健康・医療事業分野投資促進出資事業）
「アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド 2号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業「中小企業成長支援ファンド（健康・医療事業分野投資促進出資事業）」において、アクシル・キャピタル・パートナーズ2号有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として最大20億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

『アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド2号投資事業有限責任組合』は、ライフサイエンス専門特化型のベンチャーファンドであり、日本のアカデミアの高度な基礎研究力を背景に、有望ベンチャーの起業支援・発掘から投資・育成を通じて世界レベルのベンチャー企業へ押し上げることを目的するファンドです。本組合では、引き続き出資者の募集を行うことで、総額100億円の規模とすることを目標としています。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

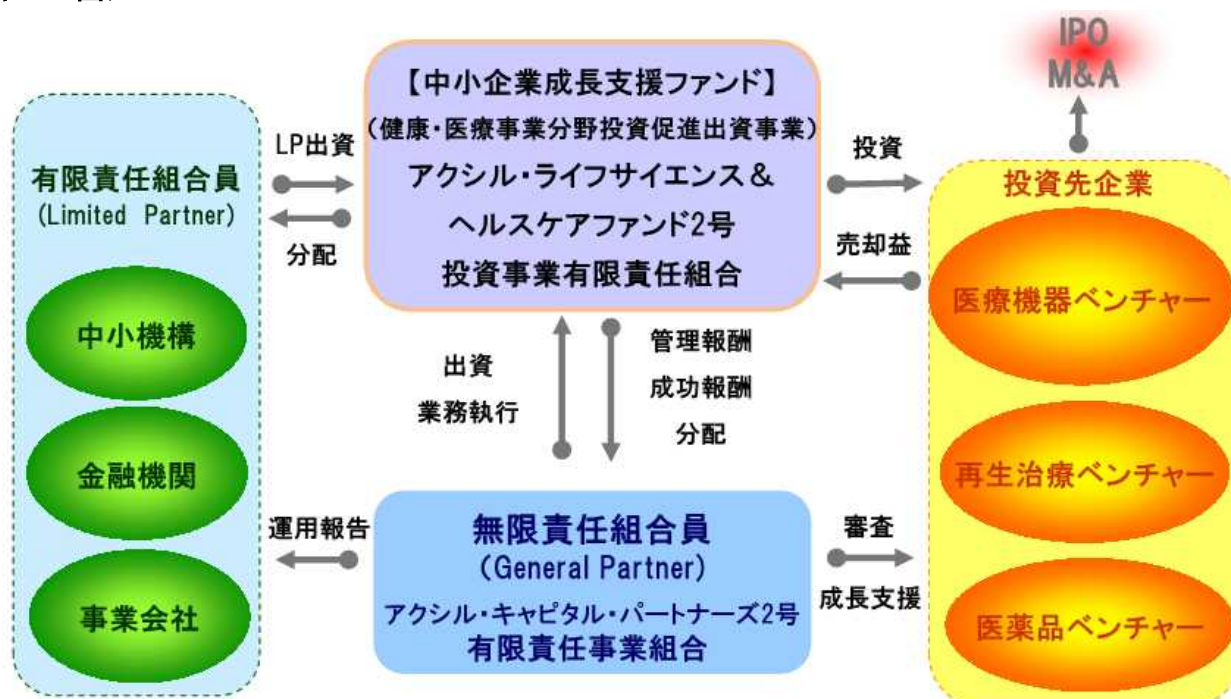
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：小林、大穂）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド2号投資事業有限責任組合」

の概要

- 「アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド2号投資事業有限責任組合」は、アクシル・キャピタル・パートナーズ2号有限責任事業組合（代表パートナー：フレデリック・シェーン、パートナー：五内川拓史 本社：東京都港区）を無限責任組合員として、令和4年11月に設立された投資ファンドです。
- 運営事業体となるアクシル・キャピタル・パートナーズ2号有限責任事業組合は、ライフサイエンス・ヘルスケア分野で国際的な経験や実績が豊富な投資メンバーで構成され、国内外の大学教授や大手製薬会社出身者によるアドバイザリーボードも構築しており、専門特化した投資対象領域に関して国内外から知見を投入し、投資実行及びハンズオン支援を行います。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf